



市政羅針盤

市長が自ら、市政運営の方針を分りやすくお伝えします。 〇秘書課 ☎36-7117

今月のテーマ 市立島田市民病院の近況報告～今春、産婦人科・眼科で常勤医着任～

「正月暁天よりその歳の大晦日と心得るべし（徳川家康）」正月早朝から、その年はもう大晦日に向かって動き始めている。時間を有効に使いましょうという格言です。私もこの教えを心に留め、本年も「市民ファースト」を念頭に、職員一丸となって市政運営に邁進してまいります。市政羅針盤も、ご愛読のほどよろしくお願い申し上げます。さて、今回は、市立島田市民病院（以下、市民病院）の近況をご報告いたします。

令和3年5月の開院に向け、新病院の建設は順調に進んでいます。昨年暮れには、免震装置の取り付けや3工区のうち2工区の鉄骨躯体がほぼ完成し、順次、外壁・内装・設備工事などに着手してまいります。集中治療室やヘリポートを完備した高度急性期機能、在宅復帰を支援する回復期機能も兼ね備えた、最新の病院となります。さらに、現救急センター1階を改修し、「透析センター」の拡充を図ってまいります。また、市民の皆さまから多数のご応募をいただきました新病院の名称は「島田市立総合医療センター」に決定しました。



新病院ロゴマーク

このようにハード面の整備が着々と進む中、市民の皆さまから医師の確保についてご心配の声をいただいておりますが、関係機関への働きかけが実を結び、今年3月には念願だった産婦人科常勤医師が着任し、分娩（出産）を受け付けることができるようになります。さらに、4月からは眼科にも2人の常勤医師が着任し、眼科の診

療・手術が以前のように実施できる体制となります。

市民病院は、公立病院に求められる救急医療・高度医療・災害医療など、さまざまな機能を担っています。救急医療については、年間4,000台以上の救急車を受け入れています。ほとんど救急搬送を断ることなく、緊急を要する疾患の対応に当たっています。急性心筋梗塞や脳梗塞などの一刻を争う疾患に対して、静岡県内でも上位の治療実績を得ていることを、皆さまにご存じでしょうか。

また高度医療については、平成28年には手術支援ロボット「ダヴィンチXi」を導入し、泌尿器科の前立腺がん手術に対してロボット支援下手術を行ってきました。患者さんにとっては、これまでの開腹手術などの体を開いて行う手術、従前の腹腔鏡などの内視鏡手術に比べて、「傷が小さい」「痛みが少ない」「出血が少ない」「入院期間が短い」「早期の社会復帰ができる」などのメリットがあります。同科では、腎臓がんや膀胱がんの手術にもダヴィンチを使用。さらに昨年の9月からは、呼吸器外科による肺がんの手術、外科による胃がんの手術にも使用されるようになり、引き続き大腸がんへと適応を拡張していく方針です。



手術支援ロボット ダヴィンチXi

今後も、急性期病院としての診療体制を整える努力を重ねるとともに、診療所などの医療機関や介護施設などと連携し、今まで以上に市民の皆さまに信頼される病院を目指してまいります。ご支援のほど、お願いいたします。

みんなのひろば

皆さんから寄せられた地域の「ニュース」「イベント」「声」などをご紹介します。

金谷天王・二軒家自主防災会では、12月1日の地域防災訓練を天王町広場で行いました。地域の防災意識高揚を目的に、避難訓練をはじめ、炊き出しや可搬ポンプでの放水、水消火器の使用や簡易担架搬送の訓練などを実施し、約350人が参加しました。中でも、幼稚園児が「まめ消防隊」として、消防団とともに消火訓練を体験。子どもたちやその保護者などの若い世代にも、防災意識を持ってもらうために実施しており、今回で2回目です。

幅広い世代に地域とのつながりを持ってもらうために、訓練の内容を毎年見直し、少しずつ参加人数が増えています。地域の未来を担う世代に、防災の大切さを伝えていきたいと思っています。（天王・二軒家自主防災会会長 松本博）



まつもとひろし